

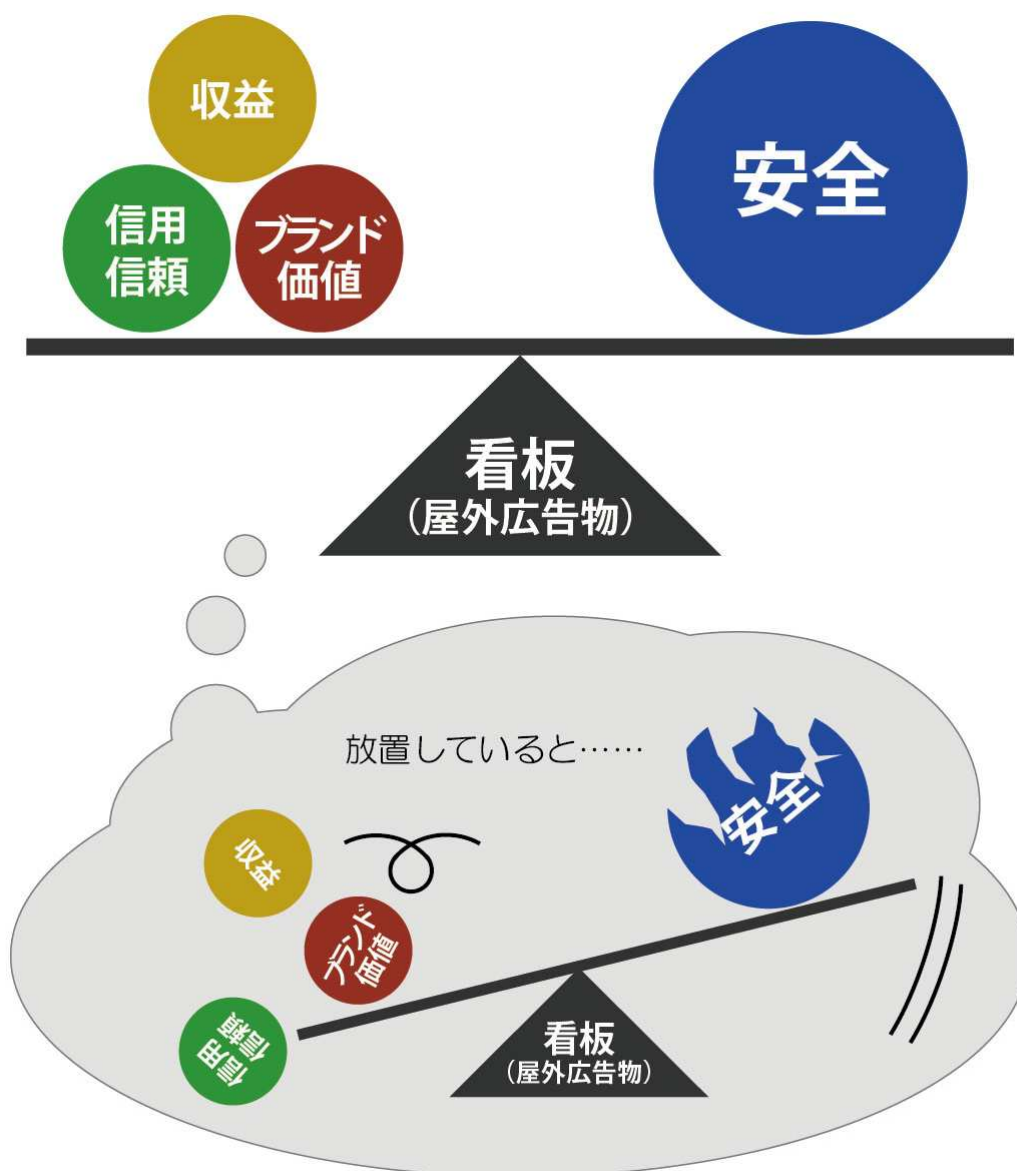
# 屋外広告物の安全性確保と維持管理

## 【看板は企業の顔】

屋外広告物は、人を導くための印となるだけでなく、経営理念やブランドメッセージを形にしたものであり、見る人に対して企業や店舗などのイメージを強く印象付けるものでもあるため、「企業の顔」と言われることがあります。

企業や店舗の製品やサービスの「信用・信頼」、「ブランド価値」、「収益」を背負っている屋外広告物にとって、最も重要となるのが「安全」です。屋外広告物は設置した後、定期的な点検やメンテナンスをしなければなりません。

屋外広告物の「安全」を軽視すると、企業イメージが低下するだけでなく最悪の場合、落下事故などにより、人にけがをさせてしまい責任を問われる可能性があります。

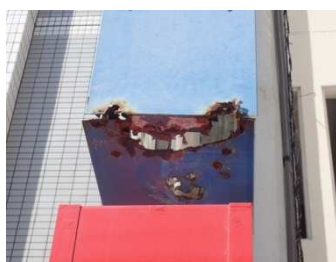


## 【屋外広告物の維持管理】

屋外広告物はその名の通り屋外に掲示されることから、変化する自然環境の中を長期間耐えるものでなくてはなりません。

特に、沖縄では常に強烈な陽光にさらされ、海風による塩害を受け、その上毎年台風を経験するという厳しい気候環境下にあるため、部材の腐食、ゆるみ、亀裂などが発生している可能性があります。

また、手入れをしなければ、汚れや色あせにより見えにくくなる、まちや通りの景観を損ねることにもつながります。



腐食して穴があいている状態



サビで汚ダレが出ている状態



色あせて見えにくくなっている状態

## 【定期的な点検】

日常的に意識して点検を行い、危険な兆候を見つけた場合は早めに信頼できる専門業者に連絡しましょう。定期的なメンテナンスは、広告主の安心と美観の維持、屋外広告物の効果を持続することにもつながります。定期点検については、3年毎の屋外広告物継続許可申請時などを目安に行いましょう。

### ▼屋外広告物点検の主なチェックポイント

#### 【建物を利用した広告物】

- 広告物の変形、ズレ、破損などがないか
- ボルトやビスなどの取付金具にゆるみがないか
- 壁面にサビなどの汚ダレはついていないか
- 付属する照明器具の腐食、ゆるみ、破損などがないか
- 色あせて景観を損ねていないか

#### 【独立した広告物】

- 歩道や道路にはみ出し、通行の妨げとなっていないか
- 広告物の変形、ズレ、破損などがないか
- ポールの根元、看板本体とポールの接合部にサビが出ていないか
- 基礎部分のひび割れがないか
- 付属する照明器具の腐食、ゆるみ、破損などがないか
- 色あせて景観を損ねていないか

屋外広告物適正化推進委員会「オーナーさんのための看板の安全管理ガイドブック」参考